

佐賀県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体  
特定非営利活動法人 被害者支援ネットワーク佐賀VOISS会報



Vol.14-2

No.43

2013.12.15

VOISS・ボイスとは、Voice of Isolated Survivor, Supportの頭文字を取ったものです。  
孤立した被害者（自己の尊厳を回復しようとしているサバイバー）の声を尊重していきたいとする、会の原点を表した愛称です。

## 心のケアを重視した安全・安心のまちづくりを目指して

唐津市長

坂井俊之



特定非営利活動法人 被害者支援ネットワーク佐賀VOISSにおかれましては、日頃より、関係機関・団体等との連携や専門的な立場からのアドバイス、また、広報・啓発活動など犯罪被害者やその家族の立場に立ったきめ細かな支援活動を続けておられることに対しまして、心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、唐津市では、近年消費生活上のトラブルが複雑多様化し、契約トラブルや不当請求、多重債務問題等の消費生活相談、金銭問題や近隣住民とのトラブルに関する法律相談や一般相談が増加しています。振り込め詐欺を含む特殊詐欺が唐津市でも発生しており、誰もが犯罪被害者になる状況にあります。そのような中、被害発生直後の早期段階から相談・支援体制の対応窓口の佐賀VOISSの存在は、被害者やその家族の救いの一助となっていることは言うまでもありません。

本年の6月からは、日本財団と昭和バスのご協力の下、県内では3台目となる佐賀VOISSの広報活動の一環を担うラッピングバスが、唐津市内でも運行されています。やさしい色使いで、佐賀VOISSのイメージするハートマーク入りのデザインバスの運行により、犯罪被害者の方々などに対する相談窓口の存在も市民に認知され、少しずつ浸透しているようです。

このような佐賀VOISSの活動は、市としましても心強く感じますとともに、今後も一人ひとりが抱える問題や心のケアを重視し、健康で文化的な市民生活を確保する観点から安全・安心のまちづくりをすすめていきたいと考えております。

## 犯罪被害者支援フォーラム2013 ～被害者に必要な支援とは～

11月15日（金）、佐賀市アバンセホールにおいて、佐賀県・佐賀県警察本部・佐賀県女性と生涯学習財団・被害者支援ネットワーク佐賀VOISSの共催により、犯罪被害者支援フォーラム2013を開催しました。

### 〔第1部〕 「性犯罪被害にあうということ」

小林 美佳さん（『性犯罪被害にあうということ』著者）

「私が経験したことを共有してください」と静かな語り口で話を始められました。性犯罪を受けた直後の生々しい状況が、当時の恐怖とともに、私たちに伝わってきました。

そして、警察への被害届、警察の対応、いつまでも続く心身の不調、家族との関わりなど率直にお話しされました。その後、同じ性犯罪被害当事者との出会いによって、本の執筆やご自身の体験談を語るできるようになられたそうです。

本を出版した事により、小林さんのブログやメールには、被害にあったことを言わないと決めている人、声をあげることが困難な人たちの声が寄せられているそうです。「性犯罪は言っただけではいけないもの、言わないものという社会の風潮があるのではないのでしょうか？被害を受けた人は、人や社会を信じられないとってしまったっているかもしれない。『被害を話してもいい社会』『話してもいい相手』『理解のある場所』『理解しようとする人』を被害者は求めている」とお話しされました。

そして、「被害を打ち明けられたら、その人との関係の中で最善のことをしてあげてください。最善の方法を示すような形で接してあげてください。一緒に『向き合ってくれていること』が大切です」と語られました。

さらに、「私は、信じることをあきらめずに、手を伸ばし続けたので、今日、理解しようとしてくれる皆さんに出会えた」とお話しされました。

性犯罪被害にあった方の中には、相談したり話を聞いてくれる人が身近にいない方も大勢いらっしゃると思います。私たち一人ひとりが被害に対して『理解すること』『向き合うこと』そして『共有すること』により、被害者の方々が求める信じられる社会になっていくのではないのでしょうか。



〔第1部〕 講演中の小林美佳さん



〔休憩〕 佐賀県警察音楽隊による演奏

〔第2部〕 トークセッション 「性犯罪被害者に必要な支援とは」  
(会場から回収したアンケートをもとにトーク)

小林 美佳さん (『性犯罪被害に会うということ』著者)  
安永 恵子さん (弁護士・佐賀県弁護士会被害者支援委員会副委員長)  
藤林 武史 (精神科医・被害者支援ネットワーク佐賀VOISS理事長)



〔第2部〕 トークセッション



〔第2部〕小林美佳さん、安永恵子さん

小林美佳さん

・傷ついた言葉はありますか？

警察が行なう被害者に対するケアは進んでいると思います。しかし、かしこまりすぎない態度で接して欲しい。また、加害者が身内や知り合いの場合に「付き合っていたのでしょう」「合意だったのでしょう」と言われたり、「立件が難しい」などと言われたりすると、勇気を持って警察に来たのに被害者は傷つきます。

・家族との関係はいかがですか？

性被害は家族にとっても大変なこと。家族に信じてもらえない人や、家族だからこそ言えない人もいます。

・被害者にどのように接し、どのような言葉をかけたらいいですか？

被害者は人の表情、動きに敏感になっています。定型化した言葉ではなく、心からの言葉で接して欲しいと思っています。

安永恵子さん

・佐賀県の性暴力救援センター・さが (さが mirai) について、医療や警察、弁護士などと連携して性犯罪被害者をワンストップで支援しているとの説明がありました。被害者の6割が未成年であり、長い間誰にも相談出来なかった人や、警察に被害を申告していない人などに対しても、支援を行なっているとのことがありました。

・ご家族に対しても法的な支援を行なっているとのことでしたが、親は子を守りたいがために、被害申告をしないことを選ぶ場合もある、とお話されました。

藤林武史

・性犯罪被害者に対しては、被害直後はさが mirai の支援を受け、裁判などでは弁護士から法的な支援があり、その後はVOISSで同行支援を行なうなど、円滑な流れができればいい、と語られました。被害者支援は、人としてどのように向き合うか、その真摯さが必要であり、また、性犯罪被害者に対して社会全体が深く理解する、そういった社会に変えていくような取り組みが必要、と述べられました。

## 出前講座

被害者の声に耳を傾け、コミュニティでできる被害者支援について一緒に考えていきたいとの思いで講座を開催しました。

第1回 8月27日(火) みやき町 コミュニティセンター こすもす館  
講師 大庭 茂彌さん

第2回 10月24日(木) 玄海町 町民会館  
講師 古川 誠さん

第3回 11月28日(木) 上峰町 町民センター  
講師 古川 誠さん



11月28日(木) 上峰町 町民センターの様子

## 命の大切さを学ぶ教室

「命の大切さを学ぶ教室」では、各学校で被害者遺族の方に講演をしていただき、生徒たちが『命』について考える貴重な機会になりました。また鏡中学校では、学校側のご配慮により、講演の合間に犯罪被害者支援啓発パネルを見る時間を設けていただき、生徒たちが熱心に見入っていました。

第3回 11月20日(水) 伊万里商業高校  
講師 山口 由美子さん

第4回 12月2日(月) 唐津市 鏡中学校  
講師 山本 浩之さん  
山本 美也子さん



11月20日(水) 伊万里商高 講演終了後、生徒が山口さんにお礼を述べている様子



12月2日(月) 鏡中 パネル展示



## 平成25年度 被害者支援サポーター養成講座

平成25年6月28日（金）から始まった平成25年度のサポーター養成講座は、12月6日（金）をもって終了しました。

閉講式では、全日程を修了された初級の4人に「サポーター養成講座修了証」が、また継続の2人には「直接支援員養成講座修了証」が授与されました。

閉講式後の交流会では、現在直接支援員として実際に活動されている先輩のお話などを聴き、受講者は決意を新たにしていました。



## 平成25年度 全国被害者支援フォーラム

平成25年10月18日（金）に、全国犯罪被害者支援フォーラム2013が開催されました。また、10月19日（土）～20日（日）に、全国被害者支援ネットワーク秋期全国研修会が開催されました。

全国犯罪被害者支援フォーラム2013では、「被害者の声」の中で、支援に求めることとして、被害者の理解や心のこもった支援をしてほしいというお話がありました。そして、パネルディスカッションでは、連携のあり方をテーマに、各県の警察や被害者支援センターとの連携の事例を話されました。連携の難しさやコーディネーターの役割の大きさ、足並みの揃った支援の必要性を感じました。

秋期全国研修会では、「犯罪被害者白書を受けて」をテーマに、地域における犯罪被害者支援の取り組みが紹介されました。また、分科会では、電話相談・付き添い支援だけにとどまらず、関係機関との連携や裁判員裁判・少年事件についての講義がありました。犯罪被害者支援の広がりを感じるとともに、これからも多岐にわたる相談に対応したいと思いました。

## 平成25年度 犯罪被害者週間キャンペーン

毎年11月25日～12月1日は「犯罪被害者週間」と定められています。「犯罪被害者週間」は、期間中の集中的な啓発事業等の実施を通じ、犯罪被害者が置かれている状況や犯罪被害者等の名誉または生活の平穏への配慮の重要性等について国民の理解を深めることを目的としています。佐賀VOISSでは、11月30日（土）、ゆめタウン佐賀店にて、佐賀県・佐賀県警の協力のもと、啓発グッズを配布し、犯罪被害者支援への理解と協力を呼びかけました。



平成25年度（4月～11月）被害者支援相談件数

活動内容		殺人	傷害	性犯罪	DV	児童虐待	その他	計
相談活動	電話相談	9	8	5	145	6	79	263
	電子メール相談	8	0	5	15	0	0	28
	面接相談	5	0	6	8	1	2	22
小計		22	8	27	168	7	81	313
直接支援	裁判傍聴付添い	0	0	1	0	0	0	1
	他機関付添い	0	0	0	0	0	0	0
	病院付添い	0	0	0	0	0	0	0
	証明書代理手続き	0	0	0	0	0	0	0
	自助グループ支援	4	0	0	0	0	0	4
	その他	1	1	5	23	0	0	30
小計		5	1	6	23	0	0	35
合計		27	9	33	191	7	81	348

平成25年11月30日現在

平成25年度 児童虐待防止専門化講座

平成25年11月5日（火）に佐賀市文化会館（中ホール）において、第4回児童虐待防止専門化講座を開催しました。

今回は、日本社会事業大学専門職大学院准教授の宮島清さんを迎え、「虐待から子どもを守る…私たちに何ができるのか」という演題で、約2時間にわたり講演していただきました。

民生委員・児童委員・PTA関係者などを含む多くの皆さまにご参加いただき、児童虐待の現状やその背景などを知り、助けを求め苦しんでいる子どもたちのために、今、私たちがそれぞれの立場でできる事や、やらなければならない事について、改めて考えさせられる機会となりました。



佐賀犯罪被害者・交通犯罪被害者遺族の会  
自助グループ

# 「一歩の会」

九州・沖縄犯罪被害者連絡会のフォーラムや交流会に参加させていただきました。体験談の発表で、傷害事件被害者ご本人や、拉致殺人被害者、性犯罪被害者のお父様のお話を聞く事ができました。

私は、ひき逃げで息子の命を奪われました。いまだに解決していません。皆さまの体験談を聞くまでは、どんな形であれ生きてさえいれば、そして命さえあれば、人生やり直しはできるものだと思っていました。

でも、被害に遭われた方の、その時の殺されるかもしれない死の恐怖やその後の苦しみ、被害によって人生を狂わされた娘さんを支えていく家族の悲痛な思いを聞き、自分の考えの甘さや愚かさに気づかされました。

まだまだ自分の事で精一杯の私ですが、多くの人の支援を受け、支えていただける事に感謝し、もがき苦しんだぶん少しでも人の心の痛みや苦しみを分かち合える人間に、寄り添える人間に成長していきたいと思えます。

## 一歩の会活動報告

8月	6日	武雄警察署 講話
9月	3日	福岡少年院 講話
	7日	一歩の会 定例会
	10日	麓刑務所 講話
10月	24日	「出前講座」講話 玄海町
11月	2日	一歩の会 定例会
	28日	「出前講座」講話 上峰町
	30日	ハートバンド全国大会参加



Please open your heart.

## VOISS会員ご入会・寄付のお礼

平成 25 年 8 月 1 日～平成 25 年 11 月 30 日にご入会の方（敬称略・順不同）

### 【賛助団体会員】

(有)三協広告社・(株)広津商会・J ネットレンタカー佐賀店  
明圓寺 西谷浩暢・鹿島藤津地区医師会・池田産婦人科・その他 1 社

### 【正会員】

吉永正・島田浩二・豊田俊明・志岐洋子・篠原祐享・小野勝広・中島由紀子  
大和幸四郎・甲斐直美・井上義紀・金崎春海・林田奈津子・永田潔治・桑原貴洋  
姫野喜久子・大石みち子・宮田慶彦・古舘佐津喜・川口愛子・真崎康子  
鶴橋圭子・藤野利恵子・山口幸子・本田富志登・その他 1 名

### 【賛助会員】

橋本高宏・丸山悦子・焼山敏晴・西依健・原田俊博・山口千恵子・日高みちえ  
くりやま花店・桑原健・山崎万里子・染川浩美・中原正仁・後藤明子  
吉木清子・宮邦信吉・その他 1 名

### 【寄付金】

森川友子・松尾弘志・才津文子

## 会 員 募 集

会員になってVOISSの活動をささえてください。  
また寄付も随時、受け付けています。みなさまの温かい  
ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

賛助会員	個人1口	2,000円
	団体1口	10,000円

郵便振替口座	01740-7-8016
被害者支援ネットワーク佐賀VOISS	





## <VOISS活動報告>

### 8月

- 1日 全国共通DVホットライン
- 3日 運営会議
- 6日 ケース検討会
- 7日 講師派遣（有田町福祉協議会）
- 8日 関係機関によるケース検討会
- 9日 サポーター養成講座  
講師派遣（福岡少年院）
- 11日 イオンイエローレシートキャンペーン
- 15日 全国共通DVホットライン
- 17日 スーパービジョン
- 20日 直接支援・カウンセリング
- 23日 サポーター養成講座
- 26日 直接支援
- 27日 出前講座（みやき町）
- 28日 第2回佐賀県DV被害者支援基本計画  
専門部会（アバンセ）・直接支援
- 29日 全国共通DVホットライン
- 3日 全国共通DVホットライン
- 5日 運営会議
- 9日 講師派遣（嬉野中学校）
- 10日 面接相談
- 11日 ケース検討会  
イオンイエローレシートキャンペーン
- 12日 第3回児童虐待防止専門化講座
- 16日 直接支援
- 17日 全国共通DVホットライン
- 18日 全国犯罪被害者支援フォーラム2013
- 19日 秋期全国研修会（～20日）  
カウンセリング
- 23日 関係機関によるケース検討会・直接支援  
H25年度第2回DV総合対策会議（アバンセ）
- 24日 出前講座（玄海町）
- 25日 ファントレゾリング®ハワーアップ®研修（～26日）  
スーパービジョン
- 29日 理事会・講師派遣（鹿島警察署）
- 30日 サガ・ライトファンタジー広報活動  
直接支援

### 9月

- 3日 講師派遣（福岡少年院）
- 5日 全国共通DVホットライン
- 6日 講師派遣（鳥栖警察署）
- 7日 運営会議・一步の会
- 10日 直接支援・カウンセリング
- 11日 講師派遣（佐賀県警察学校）  
直接支援  
イオンイエローレシートキャンペーン
- 17日 ネットワーク主催 平成26年度預保会議  
（大阪アトホカンセンター）
- 18日 直接支援
- 19日 全国共通DVホットライン
- 20日 サポーター養成講座
- 21日 スーパービジョン
- 25日 講師派遣（諸富警察署）
- 30日 事務局長会議（セントラザ博多）

### 10月

- 1日 小城市要保護児童対策地域協議会実務者会議
- 2日 性暴力被害者支援モデル事業調整会

### 11月

- 5日 カウンセリング®・児童虐待防止専門化講座
- 6日 直接支援・パネル展示（～19日 アバンセ）
- 7日 全国共通DVホットライン
- 8日 カウンセリング®・面接相談
- 11日 イオンイエローレシートキャンペーン
- 15日 犯罪被害者支援フォーラム2013
- 16日 スーパービジョン  
ファントレゾリング®ハワーアップ®研修（～17日）
- 18日 自助グループ継続研修（～19日 東京都立産業  
貿易センター）
- 20日 直接支援・命の大切さを学ぶ教室（伊万里商高）
- 21日 全国共通DVホットライン
- 22日 講師派遣（佐賀少年刑務所）
- 25日 講師派遣（鳥栖警察署）
- 26日 講師派遣（伊万里警察署）
- 28日 出前講座（上峰町）
- 30日 犯罪被害者週間キャンペーン（ゆめタウン）

## 支援自販機設置企業 ご紹介

ご協力ありがとうございます！

- |                                |   |
|--------------------------------|---|
| 1) 佐賀トヨペット (株)                 | 19) (株) 佐電工                               |
| 2) 佐賀女子短期大学                    | 20) (医) 永田天寿堂医院                           |
| 3) (有) 大町自動車学校                 | 21) 佐賀競馬組合                                |
| 4) (株) 武雄自動車学校                 | 22) 養護老人ホーム松尾山大成園                         |
| 5) (有) 虹の松原自動車学校               | 23) 佐賀整肢学園こども発達医療センター                     |
| 6) (株) 唐津自動車学校                 | 24) (株) SUMCO長浜工場                         |
| 7) 川久保自動車教習所                   | 25) (株) SUMCO佐賀工場                         |
| 8) (社) 建設業協会佐賀                 | 26) 佐賀県警察本部                               |
| 9) 篠原様宅 (鳥栖)                   | 27) 佐賀・諸富・神埼・鳥栖・小城・唐津・<br>伊万里・武雄・白石・鹿島警察署 |
| 10) 学校法人松尾学園 弘学館中・高校学校         | 28) 佐賀県医療センター好生館                          |
| 11) 東京海上日動ファシリティーズ (株)<br>九州支店 | 29) 運転免許センター                              |
| 12) 三井住友海上火災保険 (株) 佐賀支店        | 30) 運転免許試験場                               |
| 13) こが医療館クリニック                 | 31) 天山カントリー倶楽部                            |
| 14) 大坪石材 (株)                   | 32) (社) 佐賀県建設業協会                          |
| 15) 嘉瀬川リバーサイドゴルフ場              | 33) 松尾建設 (株) 済昭園現場事務所                     |
| 16) ゆめタウン佐賀                    | 34) 松尾建設 (株) 園田病院現場事務所                    |
| 17) 石丸自動車                      | ・・・その他                                    |
| 18) (医) 嬉野温泉病院新病棟 3階・4階        | 計 45 機 (順不同)                              |

## 相談窓口

電話  
相談

0952-33-2110  
月～金曜日 午前10時～午後5時  
(土日祝 12/28～1/3を除く)

メール  
相談

voiss@f3.dion.ne.jp

【 発行 】 特定非営利活動法人 被害者支援ネットワーク 佐賀VOISS  
代表 藤林 武史

【 事務局 】 〒849-0925  
佐賀市八丁畷町 1-20 佐賀県衛生合同庁舎 別館  
TEL/FAX 0952-33-2130  
E-mail voiss@f3.dion.ne.jp  
ホームページ http://www.f3.dion.ne.jp/~voiss